

ぼくのおと川のゆめ

三年三組

三浦

煌太

ぼくは、家族みんなでいる時が大すぎです。ぼくの家族は、ゲームとひるねが大すぎなお父さん、おこりんぼうで運動がにがてなお母さん、わがままだけど弟のせわが上手な妹おっぱい大すぎでなぎ虫な弟のりん家族です。ぼくは、ぼくの家族みんなが遊べる乙川を考えてみました。

まずは、ぼくと妹のために巨大な迷路の橋

をつくります。この迷路は川の上だから一度スタートしたらゴール以外に外へ出る事はできません。それに同じコースだとあきてしまうから板などでコースを変えて何度行ってもドキドキの迷路ができるようにします。それから、地下にトンネルをつくって、誰にもばれずに向かう岸へ行けるようにします。これを使ってかくれんぼやおにごっこをすれば、最高に楽しいと思います。

次に、一才の弟のために、とう明の橋をつ

くります。弟は小さいから、川にすむ魚をそばで見られないので、橋をとう明にして魚を近くで見せてあげたいです。橋の中に穴をあけてあげれば、魚にエサもあげられてき、とすごく喜ぶと思います。夜になつてその橋をライトアップすれば、とてもきれいで妹をおびめ様の気分にならせてあげられます。

それから、お父さんとお母さんのために、ぼくは、すごい発明を考えました。お父さんとお母さんは、ペットボトルの水やお茶がす

きなので、ぼくは、川の水をきれいにしてのめる道具をつくってあげます。そうしたら、わざわざわざわざ買わなくてすむので、節約になるしゴミがへるのでエコにもなります。その時きれいになる様子が外から見えたら、ぼくと妹も理科の実けんみたいでおもしろいし、弟も楽しめると思います。

こんな乙川があったら、家族みんながいつしに一日中遊んでいられるいい所になると思います。